

(3) 近年登録された主な品種

早晚性 (注)	品種名	育成者 品種登録年 農林登録年	樹姿	耐寒性	耐病性		刈り倒れ 抵抗性	収量性 (対やぶきた)
					炭疽病	輪斑病		
早生 (-10~-9)	なんめい	(独) 農業・食品産 業技術総合研究機構 2014年	やや 直立	赤枯れにやや弱 裂傷型凍害に弱	中	強	強	やや多収
早生 (-9)	はると34	宮崎県 出願公表2014	中間	赤枯れに強 青枯れに強 裂傷型凍害にやや弱	やや弱 ~弱	やや強		同等
やや早生 (-5~-4)	せいめい	(独) 農業・食品産 業技術総合研究機構 出願公表2017	やや 直立	赤枯れに中 裂傷型凍害にやや強	中~ やや弱	強	弱	やや多収
やや早生 (-5~-3)	きらり31	宮崎県 2016年 —	中間	赤枯れに強 青枯れに強 裂傷型凍害に強	弱	強	弱	やや多収
早生 (-4~-3)	ゆめかわり	宮崎県 2009年 2006年	中間	赤枯れにやや強 裂傷型凍害にやや強	やや弱	やや強	強	やや多収
早生 (-3~-1)	さいのみどり	埼玉県 2006年 2003年	中間	赤枯れにやや強 青枯れにやや弱 裂傷型凍害にやや強	やや強	中	やや強	やや多収
中生 (1~0)	ゆめわかば	埼玉県 2008年 2006年	直立	赤枯れにやや強 青枯れにやや強 裂傷型凍害に強	やや強	強		同等
中生 (1~+2)	なごみゆたか	宮崎県 2012年 2011年	やや 直立	赤枯れに中 青枯れに中 裂傷型凍害に中~強	やや弱	やや強	中	やや多収
中生 (+2~+3)	はるもえぎ	宮崎県 2006年 2003年	直立	赤枯れにやや強 裂傷型凍害にやや強	中	強	弱	同等
晩生 (+4)	はるのなごり	宮崎県 2012年 2011年	やや 開張	赤枯れに中 裂傷型凍害に弱	強	やや強	中	多収
晩生 (+5~+7)	みやまかわり	宮崎県 2006年 2003年	中間	赤枯れにやや強 裂傷型凍害に中	中	やや強	中	多収
極晩生 (+6~+10)	おくはるか	埼玉県 2015年 —	やや 開張	赤枯れに強 青枯れに強 裂傷型凍害に強	やや強	強	やや弱	多収
参考 (中生)	やぶきた		やや 直立	赤枯れにやや強 青枯れに中 裂傷型凍害にやや強	弱	弱	弱	

品質特性	その他の留意点
新芽の葉色は濃緑。	暖地での栽培に適している。農業使用量の削減が期待され、有機栽培や無農薬栽培など輸出向け栽培に適している。
アミノ酸の含有率が高く、煎茶として色沢が鮮緑色で優れ、内質も香気、滋味が優れ、やぶきた、さえみどりと同等以上。短期の被覆処理(80% 511)により、外観、内質ともに品質が向上する。	
製茶品質は全茶期を通じてさえみどりよりも優れる。水色は青みを帯び、二番茶以降も夏茶臭が感じられず、滋味にうま味が感じられる。	被覆栽培の場合の収量と製茶品質はやぶきた、さえみどりよりも優れ、被覆適性を有する。
アミノ酸含有率が高く、色沢が優れ、温かな香味でさえみどり並みに良質。	被覆により品質が向上し、かぶせ茶や玉露としても高品質な茶が生産できる。
香気は清涼感があり、滋味はこくがある。	
形状は細くよれるが、色沢はやや黒みを帯びやすい。	早生品種のため晩霜害のおそれ大きい場所での栽培は避ける。内質はやぶきたと同等である。
萎凋により、香気と滋味が向上する。	
釜炒り茶、煎茶ともに品質はやぶきたより優れ、特に香気、水色、滋味が優れる。萎凋させるとさらに花香が強くなる。	分枝数がやや少ないので、枝数を確保するような整枝に心がける。
色沢が一番茶、二番茶とも鮮緑色で優れる。香気は温和で、滋味はまろやかである。	
やぶきたと同程度	芽や茎が大きく、芽重型になりやすいと思われるので、摘み遅れに注意する。長時間の萎凋処理をすると、強い萎凋香を発揚する。
蒸した栗のようなほのかに甘い香気の特徴である。	製茶品質はやぶきたと同等である。
桜葉様の甘い香りとコクのあるうま味と甘味を有しており、一番茶、二番茶ともに香気と滋味はやぶきたよりも優れる。蒸熱時間が短いほど特有の香気が発揮される。	耐寒性に優れる。

出典：『茶の品種』（社）静岡県茶業会議所）、茶業研究報告（日本茶業技術協会）
茶品種ハンドブック（農研機構 野菜茶業研究所）
2013年度九州沖縄農業試験研究成果情報、2015年度野菜茶業研究所研究成果情報（農研機構HP）
注）早晚性の（）内の数字は対やぶきたの摘採日比較（茶品種ハンドブックより）